

ふるさと教育 取組事例

学校名	津和野町立青原学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5・6年生	総合的な学習の時間	みんなを笑顔にするために	地域住民 津和野高校生
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の幸せについて我が事として考えることで、ふるさと青原への貢献意欲を高める ・多様な人との対話を通し、これからの生き方について見通しをもつ 	
<p>1 取組の概要</p> <p>平和学習を導入として、広島で語り部による戦争体験の話聞いた後、津和野町内の戦争の爪痕を巡る学習をすることで、過去に起きた戦争を遠い存在ではなく身近にも存在していたことと認識させ、過去の出来事からこれからのみんなの幸せや自分の幸せについて考えた。その後、地域の大人の方や津和野高校生と対話を重ね、自分の未来（生き方）について考えることで、これからの自分や地域を幸せにする未来（生き方）について考える学習を展開した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和学習の題材として、津和野町内の戦争の爪痕が残る場所巡りなど身近な存在を活用することで、平和に対する想いを我が事にして、地域の幸せのためにできることを主体的に考えられるようにした。 ・地域の身近な大人と対話することで、青原で生まれ育ち感じてきた想いや現在生活している想いに触れる ・少し年上の高校生と対話することで、今後の自分の生き方のロールモデルとする。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和学習を通して学んだことや地域の大人高校生との対話を基に、多様な考えから自分の考えをまとめる力、様々な人へ想いを伝える表現力を養う。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和学習を通し、地域みんなの幸せのために何かしたいという思いが芽生えた。 ・多様な人との対話を通し、これからの自身の生き方について見つめ、考える事ができた。 ・地域の方との対話を通し、地域の方が地域を大切にしている気持ちを感じ、地域への想いを見つめ直す事ができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことを新聞にまとめる活動を通し、自分に必要な情報を取捨選択し、相手に伝わりやすく表現をするための情報処理能力を身につける事ができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和学習後の児童の気づきや想いを時間や場の都合で行動に移すまでができなかった。公民館や教育委員会と連携することで実践の場や時間をつくり出していきたい。 ・オンライン通信を活用することで、来校してもらわなくても対話をする事ができた。今後もより多様な人と対話ができるツールとして活用し、大学生や県外国外に在住しているなどの対話も試みていきたい。 			

